

食べものの輸入は突然、止まることがあります

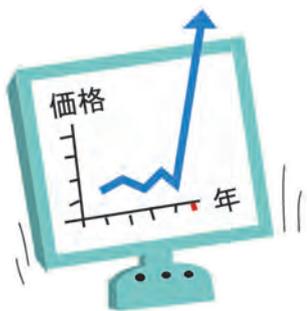
食べものの多くを輸入に頼っている日本。
でも輸入は様々なことで止まる可能性があります。
たとえば……



れい か
冷夏などの異常気象



作物の不作



こうとう
輸出国で価格高騰



輸出国が輸出の制限



こうわん
輸出国で港湾スト



ていたい
輸出国で輸出が停滞



こんにゆう
有害物質の食品への混入



き せい
食品流通の規制

日常の食生活に影響

それで
がまんしてね。



いつものおかずが
あんまり食べられないね。

もし、食べものの
輸入が止まったら…
どんな対策があるの？

GO!

万が一、食べものの輸入が止まったらどうするの？

いざというときのためにも、しっかり対応を考えておくことが必要ね。

もし、食べものが輸入されなくなったら……

食料は、一日たりとも欠かすことの出来ないものです。このため、凶作や食料輸入が止まったりした場合にも、国民が最低限度必要とする食料の供給の確保を図る必要があります。

過去に起こった事例

時期	国・地域	品目	要因	日本での対応
昭和48年	アメリカ	大豆 	●前年産の世界的な不作などによりアメリカ産の輸入大豆の価格が3倍に高騰 ●アメリカの輸出規制(73日間)	●買占めや売り惜しみの防止 ●輸出の抑制の指導 ●商品取引所での輸入大豆の取引停止
平成5年	日本	米 	●冷害による凶作(作況指数74)	●緊急輸入(255万トン) ^注 ●便乗値上げの監視
平成10年	パナマ運河	飼料穀物 	●喫水制限が強化されて輸送に制限(110日間)	●備蓄の活用

注:輸入数量は契約ベース

国は、万が一に備えて、そのときの対応策を考えています。不測の事態の深刻さの程度に応じて対応できるように、「不測時の食料安全保障マニュアル」を用意しています。

食べものが
食べられなくなったり
しないでしょ？



だいじょうぶ、
ちゃんと確保できるよ
考えてるのよ。



不測時の食料安全保障マニュアルとは

食料の輸入が止まってしまうなどの不測の事態の深刻度に応じて、
食べものの確保をするための対策が考えられています。

レベル 0



レベル1以降の
事態に発展する
おそれがある場合



- 食料供給の見通しに関する
情報収集・分析・提供
- 備蓄の活用と輸入先の多角
化、代替品の輸入

- 規格外品の出荷、廃棄の抑制
などの関係者の取組の促進
- 食料の価格動向
などの調査・監視



レベル 1



特定の
品目の供給が、
平時の供給を2割以上
下回ると予測される
場合を目安

- 緊急の増産
(国民生活安定緊急措置法)



- 買占めの是正など適正な流通の
確保(買占め等防止法など)



- 標準価格の設定などの価格の規制
(国民生活安定緊急措置法)

レベル 2



1人1日当たり供給熱量が
2,000kcalを下回ると
予測される場合を目安

- 熱量効率が高い作物などへの生産
の転換(国民生活安定緊急措置法)
- 既存農地以外の土地の利用
- 食料の割当て・配給及び
物価統制(食糧法など)
- 石油の供給の確保
(石油供給適正化法)



緊急な時に
すぐに国内生産が増やせるの？

GO!

常日頃から自分の国で つくることが大切です

国内生産のみでも国民が最低限度必要とする 食料が供給可能です

仮に、食料の輸入がなくなったとしても、現在の食生活からは大きく変わりますが、いも類など熱量の高い作物への生産転換などにより、国内農業だけで1人1日当たり2,020kcalの供給が可能と試算しています。

1人1日当たり
2,020kcalだと
昭和20年代後半の水準。



もし、国内生産のみで2,020kcalを供給すると……

●メニューの一例

朝食



ちやわん
茶碗1杯
せいまい
(精米75g分)

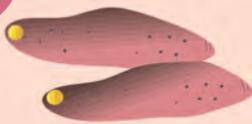


蒸かしいも2個
(じゃがいも2個・300g分)



ぬか漬け1皿
(野菜90g分)

昼食



焼きいも2本
(さつまいも2本・
200g分)



蒸かしいも1個
(じゃがいも1個・
150g分)



果物
(りんご1/4・
50g分相当)

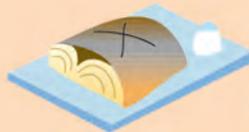
夕食



ちやわん
茶碗1杯
せいまい
(精米75g分)



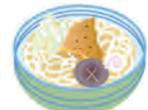
焼きいも1本
(さつまいも1本・
100g分)



焼き魚1切
(魚の切り身84g分)

調味料

(1日分) 砂糖小さじ6杯、油脂小さじ0.6杯



うどん
(小麦53g/日分)

2日に1杯



みそ汁
(みそ9g/日分)

2日に1杯



なっとう
納豆
(大豆33g/日分)

3日に2パック



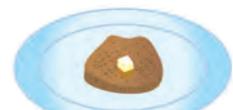
牛乳
(牛乳33g/日分)

6日にコップ1杯



たまご
けいらん
(鶏卵7g/日分)

7日に1個



食肉
(肉類12g/日分)

9日に1食

●PFCバランス

P:12(13)、F:10(29)、C:78(58)

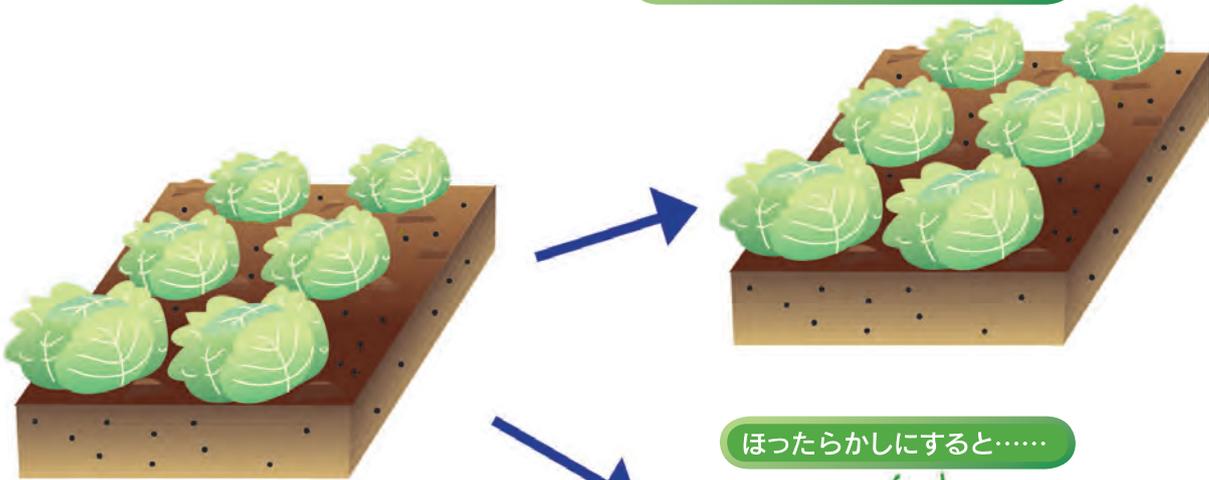
※()内は平成19年度の値

※PFCバランス:食生活におけるたん白質(P)、
脂質(F)、炭水化物(C)の比率

農地は生きています！

緊急時になったとき、いきなり土地を農地にしても十分な農作物が得られるわけではありません。農地は常日頃から、手入れしていないと荒れてしまいます。そして一度荒れてしまった農地をもとにもどすのはたいへんな作業になります。

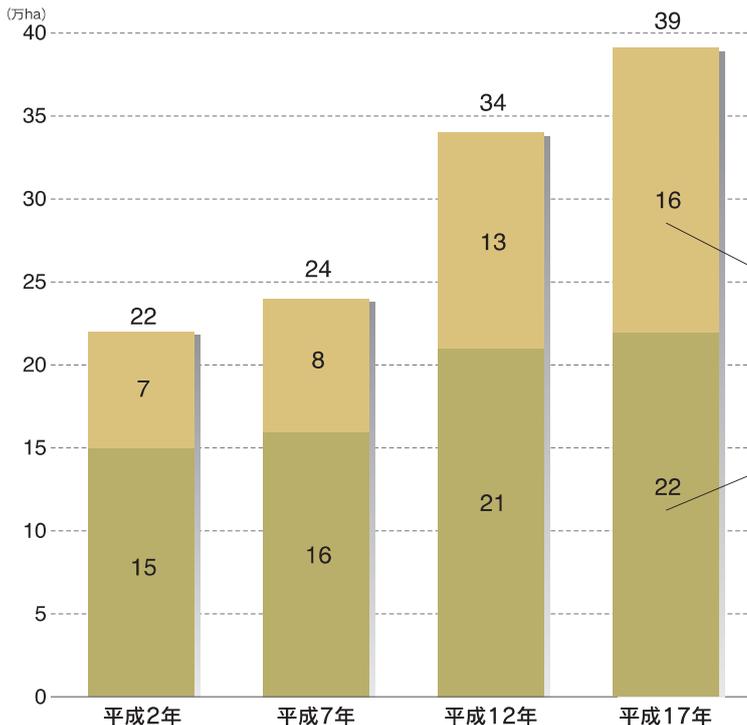
農地として続けて使っていくと……



ほったらかしにすると……



増加する耕作放棄地



土地があってもいい農地にはすぐにはならないんだね。

耕作放棄地 (土地持ち非農家)

耕作放棄地 (総農家)



資料：農林水産省「農林業センサス」

注：農家とは、経営耕地面積が10a以上の世帯をいい、土地持ち非農家とは、農家以外で、耕地及び耕作放棄地を合わせて5a以上所有している世帯をいう。

いつも生産して、食料の自給を
図っていることが大事なんだ！
食料自給率ってどうやって高めていけばいいの？

GO!